

令和5年11月30日

松江市議会議長 吉 金 隆 様

議会運営委員会委員長 立 脇 通 也

## 行政視察報告書

下記のとおり行政視察を行ったので、その結果を報告します。

### 記

1. 期 間 令和5年11月6日（月）～11月8日（水）
2. 視 察 地 愛知県大口町、三重県四日市市、三重県伊勢市
3. 参加委員名 

<u>立 脇 通 也</u>	<u>川 島 光 雅</u>
<u>石 倉 茂 美</u>	<u>田 中 明 子</u>
<u>森 脇 幸 好</u>	<u>津 森 良 治</u>
<u>森 脇 勇 人</u>	<u>三 島 良 信</u>
<u>柳 原 治 (副議長)</u>	
4. 随行者氏名 野々村繁
5. 調査内容  
愛知県大口町 ①「議会改革について（タブレットの活用、議会活動方針等）」  
三重県四日市市 ①「議会改革検討会議について」  
三重県伊勢市 ①「議会のICT化について」
6. 調査の概要 別紙のとおり

# 愛知県 大口町

## 1 調査項目

議会改革について（タブレットの活用、議会活動方針等）

## 2 視察対応者

大口町議会 議長 江口昌史

大口町議会 議会運営委員会 委員長 齊木一三

〃 副委員長 江幡満世志

〃 委員 佐名かよ子

〃 委員 仙田王一

〃 委員 鈴木和江

〃 委員 大竹伸一（副議長）

大口町議会事務局 事務局長 吉田幸弘

〃 事務局次長 廣瀬淳二

## 3 調査日

令和5年11月6日 午後1時00分～2時40分

## 4 大口町の概要

人口：2万4千人

面積：13.61平方キロメートル

愛知県西部に位置し、ほぼ平坦な地形。昭和30年代の企業誘致により大手製造業の工場等が多数立地している。

また、堀尾吉晴公の生誕地であり、松江城天守国宝化を契機として、堀尾公により結ばれる400年の歴史的な縁を深めるとともに、産業・経済分野での連携強化をはじめ、市民主体の交流を進め、両市町の友好と親善を図るため、平成27年に姉妹都市提携を締結している。

## 5 調査目的

本市議会では、審議の円滑化・活性化・ペーパーレス化を図るため、タブレットの導入を進めることとしている。本会議・委員会等における具体的な活用方法のほか、議案資料等のペーパーレス化の状況を調査するもの。

また、大口町議会において、議会改革の一環として取り組まれている議会活動方針の策定について調査するもの。

## 6 調査内容

(1) タブレットの活用について

大口町議会では、ペーパーレス会議を導入するため、平成29年12月に議員3名、議会事務局1名、執行部職員2名で構成する「タブレット導入検討プロジェクト」を設置。平成30年12月からペーパーレス会議の試行を開始し、令和元年5月から本格運用を始めた。システムはサイドブックスを使用している。

現在は、議会に関するほぼ全ての資料を電子化している。ただし、予算書・決算書に関しては、希望者には紙の資料も配布しており、見開きのページが見にくくなってしまったといったタブレットのデメリットを補完しているとのことであった。

取組に関する説明の後、実際の委員会運営を想定した「模擬委員会」を開き、議案審査の際の画面共有の操作方法等について、大口町議会議会運営委員会委員によるマンツーマン形式での詳細な説明があり、会議におけるタブレットの具体的な活用について理解を深めることができた。

## (2) 議会活動方針の策定について

大口町議会では、年度当初に議長が所信表明を行うこととしており、今年度は江口議長より、「議会の審議能力の一層の向上を図る」ため、議会や委員会の活動方針を定め、議会活動を強力に推進していく旨の発言があった。これに基づき、議会及び委員会活動方針を定め、年間を通して取り組む重点的な事項を設定し、議員や各委員会の委員が方針を共有することにより調査活動、広報広聴活動などを推進している。

上記(1)、(2)に関する主な質疑・答弁は以下のとおり。

(質疑) 広報広聴活動として議会報告会の動画配信等を行っているか。

(答弁) 議会報告会は対面で開催している。議会中継は動画配信している。

(質疑) 動画配信の内容等に関して町民の反応はいかがか。

(答弁) 質疑の内容に関するものから身だしなみにいたるまで様々な意見をいただいております。よりよい議会活動につながっている。

(質疑) 動画配信の状況を伺う。

(答弁) 生中継の後、録画配信は一般質問の部分のみを概ね会議の4～5日後に公開している。

(質疑) 議会報告会に関する課題を伺う。

(答弁) 議会活動を報告する場であるため、要望会や政治活動報告のようになってしまわないよう、対象者や論点・テーマ等を絞るなどして工夫している。

(質疑) 議員の資質向上を図るための主な取組を伺う。

(答弁) 先般、講師に弁護士を招きハラスメント研修を実施した。

(質疑) タブレットの導入時にどのような講習会を実施したか。

(答弁) 当時、業者による操作講習会を実施したが、講習会だけでなく、やはり自身で触れて操作に慣れていくことが大切。

(質疑) ペーパーレス化の状況について、紙の資料と併用しているものはどのようなものがあるか。

(答弁) 原則、議会資料はペーパーレス化しており、紙での配付はしていない。ただし、予算書・決算書は紙の資料を希望者に配布している。

(質疑) 議長の所信表明について伺う。

(答弁) 大口町議会は、これまで議長任期が1年であったため、毎年、議長の所信表明を行ってきたところ。今年度から議長任期を2年としたため、最低でも2年に一度は所信表明を行うこととしている。

(質疑) 町民との意見交換会について伺う。

(答弁) 議会報告会として実施するとどうしても堅苦しくなってしまうとの意見をいただいていることから、現在、フリートーク形式の意見交換会を検討中である。

(質疑) 議会広報紙は議員または事務局のどちらが編集しているか。

(答弁) 広聴広報委員会が担当している。



# 三重県 四日市市

## 1 調査項目

議会改革について

## 2 視察対応者

四日市市議会 副議長 谷口周司

〃 議員 早川新平

〃 議員 小田あけみ

四日市市議会事務局 議事課長 西口佳徳

〃 議事課 課長補佐 一海浩也

〃 議事課 広報広聴係 川添将秀

## 3 調査日

令和5年11月7日 午前9時55分～11時35分

## 4 四日市市の概要

人口：30万9千人

面積：206.50平方キロメートル

三重県北部に位置し、東は伊勢湾に面し西は鈴鹿山系に至る。1959年に日本初の石油化学コンビナートが立地し、以後工業都市として発展した。

## 5 調査目的

本市議会では、電子表決や議場での大型モニターの活用を始めるなど議会改革を推進しているほか、議会報告会の実施方法や議案審査の際のタブレット端末の活用について検討を進めているところ。

四日市市議会において、議会改革として取り組まれている主要な事項のほか、議会改革検討会議において議論されている主要なテーマ等について調査するもの。

## 6 調査内容

### (1) 議会改革について

四日市市議会では、議会の基本方針として、①市民との情報共有、②市民参加、③議員間討議の活性化を掲げている。

①及び②に関することとしては、議会報告会が挙げられる。参加者の減少、固定化などの課題はあるものの、継続して開催しているとのこと。

③に関しては、一つ目に議員政策研究会がある。この会議は、議員同士が意見交換し、市政の様々な課題に関して情報と意識の共有を図る場となっている。二つ目は決算審査の意見を次年度予算に反映するための「政策サイクル」と呼ばれる仕組みであ

る。ここでも決算委員会の各分科会において議員間討議が活発に行われている。

議会改革検討会議とは、副議長を座長とし、各会派から1名ずつで構成される会議であり、議会改革に資するテーマを列挙し、テーマの中から優先的に取り組むべきものから検討を進めている。

上記に関する主な質疑・答弁は以下のとおり。

(質疑) 文書質問の内容は公開しているか。

(答弁) 一議員から文書質問があると、その内容は全議員に配信される。執行部から回答があった時点で、回答の内容も全議員に配信される。同時に市議会ホームページを通じて市民にも公開している。

(質疑) 予算・決算の審査方法について、分科会でも採決をしているとのことだが、全体会で可否が逆転することがあるか。

(答弁) 逆転することはある。

(質疑) 政策提言は、議員提出議案などの形で議案として提出しているのか。

(答弁) 要望書のような形で執行部へ手交している。

(質疑) 予算案の修正はどのように行っているか。

(答弁) 修正案の調製については、事務局が執行部と調整のうえ準備している。予算委員会において、準備した修正案の動議について審査し、可決すべきものと決すれば、本会議において予算委員長が委員長報告として修正案を読み上げる形で審議が行われる。

(質疑) 政策提言は毎回多数提出されるのか。

(答弁) 分科会等で意見が交わされても、全てが採用されるとは限らない。分科会、委員会を経て集約されていき、最終的には数項目に絞られる。

(質疑) 議会報告会の実施に関して工夫していることを伺う。

(答弁) 若い方の参加を促すために SNS でも発信しながら意見交換会を実施している。

(質疑) 通年議会について伺う。

(答弁) 制度導入当時は、会期が通年になることで議員が拘束される時間が長くなるのではないかとといった不安の声が聞かれたが、必要に応じて随時審査ができる

ためメリットを感じている。

(質疑) 執行部の反問権の行使について伺う。

(答弁) 頻繁にはないが事例はあり、質問する側の議員の刺激になっている。



## 三重県 伊勢市

### 1 調査項目

議会のICT化について ほか

### 2 視察対応者

伊勢市議会 議長 品川幸久  
〃 副議長 福井輝夫  
〃 議員 北村勝  
〃 議員 藤原清史  
伊勢市議会事務局 次長 西井清子  
〃 議事係長 奥野進司  
〃 議事係 森田晃司

### 3 調査日

令和5年11月8日 午前9時55分～11時25分

### 4 伊勢市の概要

人口：12万3千人

面積：208.37平方キロメートル

三重県南東部、伊勢平野の南端部に位置し、伊勢志摩国立公園の玄関口にあたる。古くから伊勢神宮の鳥居前町として栄え、現在も多くの参拝者があり人気の観光地となっている。

### 5 調査目的

本市議会では、審議の円滑化・活性化・ペーパーレス化を図るため、タブレットの導入を進めることとしている。本会議・委員会等における具体的な活用方法のほか、議案資料等のペーパーレス化の状況を調査するもの。

また、伊勢市議会において、広報広聴活動の一環として取り組まれている事項について調査するもの。

### 6 調査内容

#### (1) 議会のICT化について

伊勢市議会では、令和3年2月に「伊勢市議会情報通信機器使用基準」を定め、タブレット端末を導入。令和5年6月から段階的に議会資料のペーパーレス化を実施していく予定としている。グーグルドライブを使用し会議資料を電子化して配付するほか、グーグルカレンダー、Gメールを使用し、会議や議会行事予定等を共有している。また、必要に応じてオンライン会議が開催できるよう委員会条例を改正したとのこと。

主な質疑・答弁は以下のとおり。

(質疑) 高校生議会について、執行部役を議員が務めたとのことであるが、議員から戸惑いの声などなかったか。また、事前通告制で行われたか。

(答弁) 事前通告制で実施している。通告に対して執行部があらかじめ用意した答弁書をもとに議員が発言している。

(質疑) 議会報告会について状況を伺う。

(答弁) コロナ禍でしばらく休止していたが、先般、自治会連合会から参加してもらって実施したところ。

(質疑) 小学生向けの議会ツアーについて参加児童の反応はどうか。

(答弁) 実施後のアンケートは好評であった。事前に予備知識を学んでから来てくれており感謝している。

(質疑) ペーパーレス化の取組について目標を設定しているか。

(答弁) 何枚削減といった具体的な数値は設定していない。予算書・決算書については、完全ペーパーレス化は難しいと感じており、現在は紙の資料を併用している。できるところから進めていく。

(質疑) オンライン会議の状況について伺う。

(答弁) 2月に一度開催したときは通信環境など心配したが、滞りなく行うことができた。今後も、災害時や感染症対策でやむを得ずオンライン会議を行うことがあると想定している。

(質疑) ペーパーレス化の取組にあたり、事務局や執行部の職員の負担はどうか。

(答弁) タブレットの操作に不慣れな議員への対応などはあるが、重荷になっていることは今のところない。また、議場での配付物が減ったため、会議前の作業量が減った。

